

第4日：11月29日（木）

講演・実習 「叢書」 勝村哲也（人文科学研究所教授附属東洋学文献センター助教授）

講演・ 「蔵書家」 井波陵一（滋賀大学助教授）

第5日：11月30日（金）

講演・実習 「朝鮮本」 藤本幸夫（富山大学教授）

第6日：12月1日（土）

質疑応答

閉講式：人文科学研究所教授附属東洋学文献センター長

受講者から寄せられた主な感想は次のとおりである。

1. 漢籍を扱う際、たんに整理上の技術的な処理だけが問題になるのではなく、中国における書物というのは一体なんであるか、といった問題が大変重要であると思う。従って今回漢籍に対する基礎的な知識を教えていただいた事は大変有意義であったと考える。
2. 中国の文化伝統の重みと共に、漢籍というものを扱う際の困難さをも改めて感じさせられた。
3. 漢籍全体に対する知識を深め整理することができた。また実務に対して参考になるような内容も多かった。
4. 講義は面白く、また仕事に対する刺激を与えてくれた。

（人文科学研究所附属東洋学文献センター）

CD-ROM の利用方法の一部変更

8月下旬より、CD-ROM 出版物によるサービスを開始しました。（静脩1990年10月 Vol.27, No.2）

今までの利用方法には利用上の問題があったので、これを解消するためにチェンジャーを2個購入し、

チェンジャー1：〔日本語対応 端末機使用〕

朝日新聞全文記事情報、学術雑誌総合目録、国文学研究資料館蔵 マイクロ資料目録

AURORA on CD-ROM （青山学院大学蔵書目録）

チェンジャー2：〔外国語対応（アルファベット）端末機使用〕

Book in Print Plus. Ulrich's Plus.

をセットし、下記の時間帯はいつでも機械が立ち上がっている状態にしました。利用者は次の時間内ならば何時でも、自由に、手続きもなく利用できます。

記

（平日）9：00～12：00. 13：00～17：00. （土曜日）9：00～12：00

但し、「広辞苑」はチェンジャー1に、はいらないので利用者は従来どおりの手続きが必要です。

（参考調査掛）

京都大学附属図書館報「静脩」 Vol. 27, No. 3（通巻99号）1991年1月31日発行・編集：静脩編集委員会
（責任者 附属図書館事務部長） 発行：京都大学附属図書館・京都市左京区吉田本町・☎075-753-2613